

# 樹の生命を守る会創立 15 周年記念誌

発行：2019 年 6 月 1 日

《 この1冊で千葉県樹木医の活動の多くを知ることができる必見の記念誌 》

樹の生命を守る会は、日本樹木医会千葉県支部所属樹木医有志が、全国で最初に創立した樹木医の非営利活動法人です。これまで毎年発行してきた広報誌は、会の紹介や会員の技術参考誌として読まれてきました。15 周年を記念して、既刊広報誌での重要な記事を整理・編集すると共に、先達の知恵と工夫の記事も加えて、樹木医や樹木に携わる人に役立つ記念誌を目指して作成しました。

特定非営利活動法人 樹の生命を守る会 理事長 大木一男



- 千葉県樹木医が活動する NPO 法人樹の生命を守る会の創立から現在に至る活動を紹介
- 巨樹・古木フォーラム・子ども樹木博士認定事業・松林等被害調査・国内外研修等の NPO 法人活動を紹介
- 国指定天然記念物の古木始め、多くの樹木の樹勢調査や樹勢回復治療方法を紹介
- 樹木医として知っておきたい、樹木の生理・病虫害・安全点検等に関する多くの学術・技術記事を多く掲載
- 海外 12 か国の樹木や樹木医・造園技術記事掲載
- 千葉県の森林、東京大学演習林紹介
- 接木技術を紹介
- 樹木医が読んでおきたい近刊本の紹介
- 日本樹木医会千葉県支部の活動紹介

## 目次

### 第 I 部 樹の生命を守る会紹介編

- 第 1 章 挨拶・祝辞・思い出
- 第 2 章 樹の生命を守る会 この 15 年
- 第 3 章 現在の組織と活動

・樹の生命を守る会が 15 年間どのような活動を行ってきたかを記述すると共に、現在の組織とどのような活動をしているかを紹介

### <備考>

仕様：A 4 版 418 頁 CD-ROM 付属

### 第 II 部 技術編

- 第 1 章 先達の知恵と工夫
- 第 2 章 既刊広報誌の特集記事
- 第 3 章 既刊広報誌の寄稿記事
- 第 4 章 既刊広報誌の連載記事

・第 1 章では、経験豊かな千葉県樹木医の知恵と工夫を紹介、NPO 法人活動のノウハウを紹介  
・第 2～4 章では、既刊広報誌に掲載した特集記事、寄稿記事、連載記事を記載  
・樹木生態研究会の堀大才氏、東京大学の山田利博教授、千葉大学の岩崎寛准教授等の学術論文や現場経験豊富な千葉県樹木医の技術記事満載  
・樹木医として知っておきたい記事多数

《内容見本》

**樹の生命を守る会 15周年記念誌**

## 第2章 特集記事（既刊広報誌）

### 1. 樹木の生理と力学

#### 1-1. 樹木の力学的適応

NPO 法人樹木生態研究会 代表理事（当時）  
 (NPO 法人樹の生命を守る会 顧問) 堀 大才  
 出典：堀大才 樹の生命第4号（2006年）



樹木はその時々状況に応じて、樹体を最も力学的に安定した状態、つまり最適化した状態にしようとしており、それが樹形に表れてくる。そこで、樹形とその力学的意味について、筆者のドイツの友人である Prof. Claus Mattheck の研究成果をもとに、筆者のこれまでの研究成果を加えて簡単に紹介する。

1. 樹冠の働き

樹冠の形は力学的に極めて大きい意味を持っている。孤立し風当たりの強い所にある木ほど大きな樹冠を持っており、林内の木ほど樹冠は小さい。樹冠が大きく広がり下枝が発達した樹形は風に対する抵抗性が非常に高くなる。図1は下枝まで十分についているスギの若木に対し、そのままの場合、下枝を除去し上部の枝だけにした場合、片枝



図1. 樹幹が異なると幹の揺れ方が異なる

また、風上側の枝をすべて取除いて風下側だけに枝がついた木は、幹の揺れは40%に減少し、根元の揺れも60%に減少している。このことから、海岸や山の稜線の風衝地に生育する樹木がしばしば片枝であり、いかにも不安定なように見えても力学的には合理的であることが分かる。

風荷重に対する樹冠の働きでもう一つ注目すべきことは個々の枝の働きである。樹冠内の個々の

15周年記念誌申込書

資料代 1,500円+送料（1冊360円）

申込数

 冊

氏名		電話番号	
住所	〒		
e-mail アドレス		支払方法	銀行振込（振込手数料はご負担ください）

● 申込とお問合せは：樹の生命を守る会事務局（大木幹夫）

- ・ 電話&ファクス（大木植木）0479-73-5666
- ・ e-mail：kinoinochi@nifty.com

■ 申込承り後、請求書と支払い振込銀行口座のご案内を送付し、記念誌を提供します。

■ 令和元年6月7日（金）に富山市で開催する日本樹木医会総会会場でも記念誌の有料提供を行います。